

2026年3月期 第2四半期決算 参考資料

三浦工業株式会社

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

ハイライト

1. 売上収益

- 第2四半期累計として、過去最高を達成し、増収（前同比11.3%増）
 - 国内事業においては、ボイラ、舶用機器が堅調に推移
またメンテナンス事業についても引き続き堅調に推移
 - 海外事業においては、買収効果もありボイラ販売、メンテナンスともに伸長

2. 利益

- 第2四半期累計として、すべての利益で過去最高を達成し、増益
 - 昨年のM&A関連費用の影響がなくなり全社的に増益

1. 2026年3月期 第2四半期業績

概要

・増収増益、売上及び各利益で第2四半期累計としては過去最高を達成

<IFRS>	単位	2025年3月期 2Q累計	2026年3月期 2Q累計	前同比	前同比増減率	【参考】 為替影響を除く 増減率
売上収益	億円	1,113	1,239	+125	+11.3%	+13.9%
営業利益	億円	90	139	+48	+53.5%	+57.2%
営業利益率	%	8.2	11.3	+3.1	—	—
税引前利益	億円	102	166	+64	+62.9%	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	億円	73	122	+48	+66.1%	—
1株当たり当期利益	円	66	105	+38	+58.3%	—
配当	円	24	30	+6	—	—

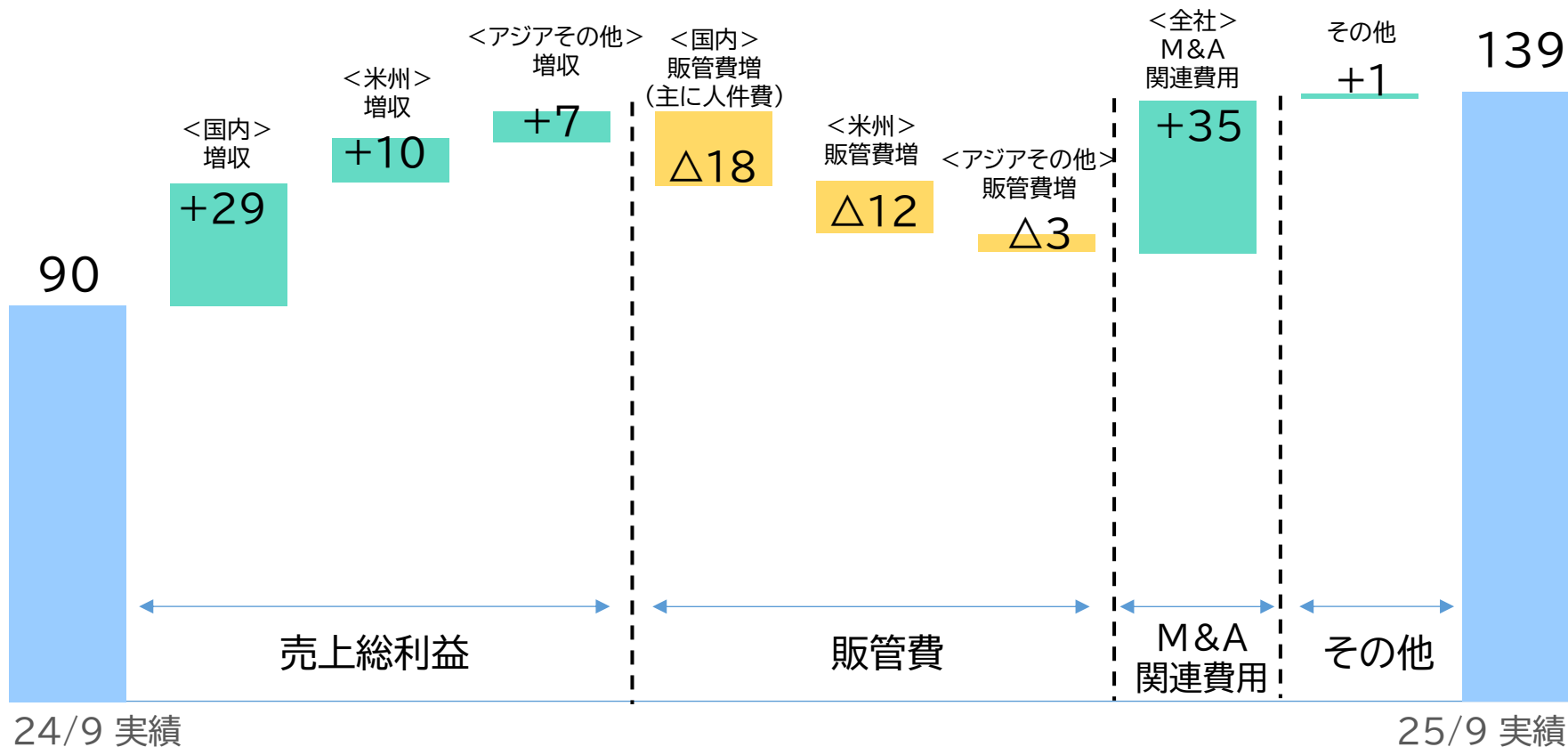
為替換算影響額

売上収益	△29
営業利益	△3

(注)2025年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、
2025年3月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

営業利益増減要因(前同比)

(単位:億円)



- ・日本国内事業は、人件費など増加したものの、増収効果により増益。
- ・米州事業は、売上が増加したが、販管費増加の影響が上回った。
- ・アジアその他事業は、ボイラ販売が堅調。

セグメント別（新セグメント）（24/9…2025年3月期2Q累計、25/9…2026年3月期2Q累計）

単位:億円

単位:億円

単位:%

	売上収益				セグメント利益				セグメント利益率			
	24/9	25/9	前同比	2Q 累計 計画	24/9	25/9	前同比	2Q 累計 計画	24/9	25/9	前同比	2Q 累計 計画
日本国内	573	619	+45	630	83	92	+8	97	14.6%	15.0%	+0.4%	15.3%
米州	375	433	+57	490	49	50	+0.9	62	13.3%	11.7%	△1.6%	12.6%
アジアその他	164	186	+21	180	15	18	+3	21	9.5%	10.1%	+0.6%	11.6%
調整額	—	—	—	—	△0.3	△0.8	△0.5	—	—	—	—	—
合計	1,113	1,239	125	1,300	149	161	12	180	13.4%	13.0%	△0.4%	13.8%

（注）セグメント利益の「調整額」には、セグメント間の内部取引消去が含まれております。

概要

- ・日本国内事業は、ボイラ及び関連機器、船用機器で販売が堅調に推移したことやメンテナンス活動で有償保守契約件数の増加・省エネ活動の推進により、売上伸長
- ・米州事業は、Cleaver-Brooks社の業績反映期間の影響(前年度4.5ヶ月)により売上増加
- ・アジアその他事業は、独・CERTUSS社の業績反映期間の影響(前年度5ヶ月)や、その他の国や地域でボイラ販売が堅調に推移したことにより売上増加

セグメント別（【参考】旧セグメント）（24/9…2025年3月期2Q累計、25/9…2026年3月期2Q累計）

単位:億円

単位:億円

単位:%

	売上収益			セグメント利益			セグメント利益率		
	24/9	25/9	前同比	24/9	25/9	前同比	24/9	25/9	前同比
国内機器販売	358	386	27	21	28	7	5.9%	7.3%	+1.4%
国内メンテナンス	214	233	18	62	63	0	29.1%	27.2%	△1.9%
海外機器販売	137	151	14	5	12	6	4.3%	8.3%	+4.0%
海外メンテナンス	62	65	3	7	9	1	12.1%	13.9%	+1.8%
C-B・CERTUSS	340	402	62	52	49	△2	15.4%	12.3%	△3.1%
その他	0	0	△0	0	0	△0	—	—	—
調整額	—	—	—	△0	△1	△1	—	—	—
合計	1,113	1,239	125	149	161	12	13.4%	13.0%	△0.4%

(注) 1. 「その他」の区分は、当社グループが行っている保険代理業等の報告セグメントに含まれない事業セグメントです。
2. セグメント利益の「調整額」には、セグメント間の内部取引消去が含まれております。

国内事業別の売上収益

単位:億円

	2025年3月期 2Q累計	2026年3月期 2Q累計	増減率
ボイラ	328	354	+7.9%
アクア(水処理機器)	46	52	+13.0%
舶用	66	75	+13.6%
食機・メディカル	80	76	△5.0%
その他 (ランドリー・特機・新事業・環境等)	53	62	+17.0%
合計	573	619	+8.0%

国内事業別の概況

ボイラ事業

事業環境

ボイラ台数は産業規模の縮小に合わせて緩やかに減少しているが、蒸発量ベースでは横ばいとなっている。カーボンニュートラル対応への期待は高まっている。

上期の実績

高圧大容量の蒸気ボイラ販売も増加し、工事売上等も増加した。

今後の取組み

補助金事業の活用、シェアの低い業界への展開、高効率ボイラへの更新提案など、引き続き進めていく。カーボンニュートラルに向けて、水素ボイラや電気ボイラなど全方位での開発を進めていく。

アクア(水処理機器)事業

事業環境

水処理業界では、主要各社がそれぞれの強みを生かした重点分野への戦略分化を進めており、当社は産業用途全般にわたる総合的な水処理ソリューションの提供を強化し、多様な業種で純水・排水処理案件を獲得。

上期の実績

EPC契約を伴う大型プラント案件の売上増加、エンジニアリング・工事の売上も増加。

*EPC:「Engineering(設計)、Procurement(調達)、Construction(建設)」を一括して請負う方式

今後の取組み

水のトータルソリューション提案を進める。新たにグループに加わったミウラ環境エンジニアリングと連携した排水分野の強化を進める。

舶用事業

事業環境

国内外の新造船需要は減速感はあるが、引き続き活況。環境対応においてはメタノール燃料からLNGへ回帰している。

上期の実績

舶用ボイラ、バラスト水処理装置、部品(大型部品)の売上が増加。

今後の取組み

中国向けの販売拡大に向けた活動を継続。グループ会社製品、通信用i-MITEC、環境対応製品などの提案数を増やす。

食機・メディカル事業

事業環境

人財不足等を背景に、自動化や省力化の高付加価値ソリューション提案が求められる。

上期の実績

食品機械は、前年に大型案件があったことで、前同比売上減少。メディカル機器については、前同比同程度の売上。

今後の取組み

食品機械は自動化を含めたトータルソリューション提案を進める。メディカル機器は、機器とDXを合わせた提案を進める。

その他事業

(ランドリー・特機・新事業開発・環境等)

上期の実績

【環境】海外展開戦略により、北米への機器販売が増加した。
【特機】発電事業者向けの加熱蒸気発生装置の販売があった。
【新事業】コンプレッサの販売は堅調。

今後の取組み

【環境】規制強化対応に向け、お客様ニーズに応える提案の推進。
【その他】省エネに向けた提案を推進。

海外地域別の売上収益

単位:億円

		2025年3月期 2Q累計	2026年3月期 2Q累計	増減率
	米州	53	54	+1.9%
	C-B	322	376	+16.8%
	韓国	60	61	+1.7%
	中国	50	56	+12.0%
	その他アジア	36	40	+11.1%
	欧州	19	31	+63.2%
	海外合計	540	618	+14.4%

海外地域別の概況

米州事業(C-B社除く)

事業環境

各国で状況は異なるが、昨年の米国大統領選挙やその後の関税政策の影響を懸念した景気不透明感から設備投資は様子見。

上期の実績

米国法人は、昨年度上期が低迷していたことにより増収増益となったが引続き軟調。メキシコ法人・ブラジル法人は、保守契約取得活動が着実に成果をあげている。

今後の取組み

各国各法人においてメンテ契約率、通信率、薬品取引率の向上と水処理管理品質向上を事業基盤強化として取り組む。

C-B社

事業環境

各国で状況は異なるが、昨年の米国大統領選挙やその後の関税政策の影響を懸念した景気不透明感から設備投資は様子見。
C-B社事業もコスト面でトランプ関税の影響を受けている。

上期の実績

業績管理期間が伸びたことにより売上は増加しているが、昨年度の受注減少の影響もあり、計画比では進捗が弱い。

今後の取組み

現状の成長取組みを維持するとともに、中長期視点でのシナジー創出に取り組んでいく。

韓国	<p>事業環境 景気の後退感はあるものの、財閥や国家先端産業(半導体・バイオ・二次電池)向けで引き続きの需要が見込まれる。</p> <p>上期の実績 政府補助金の積極的な活用により台数を伸ばし売上増加。増収増益となった。薬品や保守契約についても順調に推移。</p> <p>今後の取組み 財閥向け、国家先端産業向けの先行営業を進める。トータルソリューション提案も展開。</p>
中国	<p>事業環境 景気後退により需要は減少している。また、工場稼働率低下により蒸気使用量も減少している。環境対応は現状維持だが、LNGからバイオマスへの変更が増加している。</p> <p>上期の実績 販売台数は増加しているが、単価低下で増収減益となった。蒸気使用量の減少により薬品売上が減少。メンテナンスは増収増益となっている。</p> <p>今後の取組み 省エネ提案を進めるとともに、リースなど新しい販売スタイルで拡販していく。現地需要に応えるボイラ開発を進めていく。</p>

アジア

事業環境

政局等の外部要因に左右される部分はあるが、各国の産業成長に伴い需要の増加が見込まれる。

上期の実績

いずれの国もボイラ販売が堅調に推移、メンテナンスも順調に伸びている。

今後の取組み

ユーザーに近い立場でのビジネスを継続するとともに、中長期を見据えた投資を継続する。

欧州

事業環境

ドイツ経済は足元での低迷により、ボイラ市場も減速。トルコ経済はインフレにより、先行き不透明。

上期の実績

CERTUSS社については業績管理期間が伸びたことにより売上は増加している。輸出案件は増加している。トルコはボイラ販売が堅調。

今後の取組み

CERTUSS社について、国内外に向けてボイラ販売を推進していく。トルコでは、販売地域を拡大してボイラ販売を推進していく。

【参考】地域別売上収益推移(為替影響を除く)

単位:億円

	2025年3月期 2Q累計	2026年3月期 2Q累計	前同比成長率	【参考】 為替換算影響を除いた 前同比成長率
日本	573	619	+8.0%	+8.0%
米州	53	54	+1.9%	+8.0%
C-B	322	376	+16.8%	+22.5%
韓国	60	61	+1.7%	+8.9%
中国	50	56	+12.0%	+19.1%
その他 アジア	36	40	+11.1%	+25.0%
欧州	19	31	+63.1%	+47.6%
海外合計	540	618	+14.4%	+19.7%
合計	1,113	1,237	+11.1%	+13.5%

- (注) 1. 為替換算影響を除いた前同比成長率の算出には、当期の為替レートを用いています。
 2. C-Bおよび欧州は、Cleaver-Brooks社およびCERTUSS社の業績反映期間の影響を含みます。

2. Appendix

1. セグメント別売上収益推移（新セグメント）
2. セグメント別利益推移（新セグメント）
3. セグメント別売上収益推移（【参考】旧セグメント）
4. セグメント別利益推移（【参考】旧セグメント）
5. (国内)事業別売上収益推移
6. 地域別売上収益推移
7. 為替レート推移
8. キャッシュ・フロー推移

1.セグメント別売上収益推移（新セグメント）

単位:億円

	2022年 3月期 2Q累計	構成比	2023年 3月期 2Q累計	構成比	2024年 3月期 2Q累計	構成比	2025年 3月期 2Q累計	構成比	2026年 3月期 2Q累計	構成比
日本国内	524	79%	532	77%	528	75%	573	51%	619	50%
米州	30	5%	45	7%	50	7%	375	34%	433	35%
アジアその他	107	16%	113	16%	122	18%	164	15%	186	15%
合計	662	100%	692	100%	701	100%	1,113	100%	1,239	100%

2.セグメント別利益推移（新セグメント）

単位:億円

	2022年 3月期 2Q累計	構成比	2023年 3月期 2Q累計	構成比	2024年 3月期 2Q累計	構成比	2025年 3月期 2Q累計	構成比	2026年 3月期 2Q累計	構成比
日本国内 (セグメント利益率)	82 (15.7%)	85%	80 (15.0%)	82%	83 (15.8%)	83%	83 (14.6%)	56%	92 (15.0%)	57%
米州 (セグメント利益率)	1 (4.3%)	1%	0 (0.7%)	2%	3 (6.1%)	3%	49 (13.3%)	33%	50 (11.7%)	31%
アジアその他 (セグメント利益率)	13 (12.5%)	14%	16 (14.8%)	16%	14 (11.8%)	14%	15 (9.5%)	11%	18 (10.1%)	12%
計 (セグメント利益率)	97 (14.7%)	100%	97 (14.1%)	100%	101 (14.4%)	100%	149 (13.4%)	100%	162 (13.1%)	100%
調整額	0	—	0	—	△2	—	0	—	0	—
合計 (セグメント利益率)	96 (14.6%)	—	96 (13.9%)	—	99 (14.1%)	—	149 (13.4%)	—	161 (13.0%)	—

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間の内部取引消去が含まれております。

3.セグメント別売上収益推移（【参考】旧セグメント）

単位:億円

	2022年 3月期 2Q累計	構成比	2023年 3月期 2Q累計	構成比	2024年 3月期 2Q累計	構成比	2025年 3月期 2Q累計	構成比	2026年 3月期 2Q累計	構成比
国内機器販売	278	42%	346	50%	329	48%	358	32%	386	31%
国内メンテナンス	180	27%	186	27%	198	28%	214	19%	233	19%
海外機器販売	100	15%	113	16%	120	17%	137	12%	151	12%
海外メンテナンス	36	6%	45	7%	52	7%	62	6%	65	5%
ランドリー	65	10%	—	—	—	—	—	—	—	—
C-B・CERTUSS	—	—	—	—	—	—	340	31%	402	33%
合計	662	100%	692	100%	701	100%	1,113	100%	1,239	100%

(注) セグメント区分の見直しにより、2024年3月期 第2四半期よりランドリー事業を国内機器販売事業に含めております。
それに伴い、2024年3月期第1四半期の連結財務諸表を遡及修正しております。

4.セグメント別利益推移(【参考】旧セグメント)

単位:億円

	2022年 3月期 2Q累計	構成比	2023年 3月期 2Q累計	構成比	2024年 3月期 2Q累計	構成比	2025年 3月期 2Q累計	構成比	2026年 3月期 2Q累計	構成比
国内機器販売 (セグメント利益率)	24 (8.4%)	27%	22 (6.2%)	24%	26 (8.0%)	26%	21 (5.9%)	14%	28 (7.3%)	17%
国内メンテナンス (セグメント利益率)	50 (28.0%)	55%	53 (28.6%)	57%	56 (28.3%)	57%	62 (29.1%)	42%	63 (27.2%)	39%
海外機器販売 (セグメント利益率)	8 (8.5%)	9%	11 (10.4%)	12%	10 (8.4%)	10%	5 (4.3%)	3%	12 (8.3%)	8%
海外メンテナンス (セグメント利益率)	6 (18.0%)	7%	7 (16.0%)	7%	7 (14.0%)	7%	7 (12.1%)	5%	9 (13.9%)	6%
ランドリー (セグメント利益率)	2 (3.5%)	2%	— (—)	—	— (—)	—	— (—)	—	— (—)	—
C-B・CERTUSS (セグメント利益率)	— (—)	—	— (—)	—	— (—)	—	52 (15.4%)	36%	49 (12.3%)	30%
合計 (セグメント利益率)	92 (14.0%)	100%	93 (13.5%)	100%	98 (14.1%)	100%	149 (13.4%)	100%	162 (13.2%)	100%

(注) 1. セグメント区分の見直しにより、2024年3月期第2四半期よりランドリー事業を国内機器販売事業に含めております。
 2. 2024年3月期第4四半期より営業利益にかわりセグメント利益での表示に変更しております。
 なお、この変更に関連する当頁の合計欄は、「その他」の区分と調整額を含まない、セグメント利益の計です。

5.(国内)事業別売上収益推移

単位:億円

	2022年 3月期 2Q累計	構成比	2023年 3月期 2Q累計	構成比	2024年 3月期 2Q累計	構成比	2025年 3月期 2Q累計	構成比	2026年 3月期 2Q累計	構成比
ボイラ	291	55%	292	55%	314	59%	328	57%	354	57%
アクア (水処理機器)	36	7%	37	7%	42	8%	46	8%	52	8%
船用	44	8%	53	10%	53	10%	66	12%	75	12%
食機・ メディカル	58	11%	59	11%	63	12%	80	14%	76	13%
ランドリー	66	13%	—	—	—	—	—	—	—	—
その他 (ランドリー・特機・ 新事業・環境等)	30	6%	92	17%	56	11%	53	9%	62	10%
合計	525	100%	533	100%	528	100%	573	100%	619	100%

(注) セグメント区分の見直しにより、連結財務諸表を遡及修正しております。

6.地域別売上収益推移

単位:億円

	2022年 3月期 2Q累計	構成比	2023年 3月期 2Q累計	構成比	2024年 3月期 2Q累計	構成比	2025年 3月期 2Q累計	構成比	2026年 3月期 2Q累計	構成比
日本	524	79%	532	77%	528	75%	573	51%	619	50%
米州	30	4%	45	7%	50	7%	53	5%	54	4%
C-B	—	—	—	—	—	—	322	29%	376	30%
韓国	38	6%	37	5%	43	6%	60	6%	61	5%
中国	44	7%	47	7%	50	7%	50	4%	56	5%
その他アジア	24	4%	28	4%	28	5%	36	3%	40	3%
欧州	—	—	—	—	—	—	19	2%	31	3%
海外合計	137	21%	159	23%	173	25%	540	48%	618	50%
合計	662	100%	692	100%	701	100%	1,113	100%	1,237	100%

7.為替レート推移

平均レート

通貨	2022年3月期 2Q累計	2023年3月期 2Q累計	2024年3月期 2Q累計	2025年3月期 2Q累計	2026年3月期 2Q累計	前同比増減率	2026年3月期 計画
USD	109.81	134.03	141.06	152.78	146.02	△4.4%	149.00
CAD	88.30	103.84	105.13	111.82	105.75	△5.4%	104.00
ユーロ	—	—	—	166.07	168.05	+1.2%	162.00
元	16.99	19.89	19.75	21.16	20.29	△4.1%	20.50
NTD	3.94	4.49	4.53	4.72	4.82	+2.1%	4.50
WON(100W)	9.65	10.32	10.75	11.21	10.50	△6.3%	10.90
ルピア(100Rp)	0.77	0.91	0.94	0.96	0.89	△7.3%	0.91
ブラジルリアル	20.75	26.36	28.75	28.41	26.33	△7.3%	26.00
メキシコペソ	5.49	6.66	8.13	8.49	7.66	△9.8%	7.30
タイバーツ	3.42	3.79	4.05	4.27	4.46	+4.4%	4.40

8. キャッシュ・フロー推移

単位:百万円

	2022年3月期 2Q累計	2023年3月期 2Q累計	2024年3月期 2Q累計	2025年3月期 2Q累計	2026年3月期 2Q累計
営業活動CF	7,496	4,058	6,552	8,475	18,442
投資活動CF	△3,722	△3,558	2,008	△120,118	△3,691
フリーCF	3,774	500	8,560	△111,643	14,751
財務活動CF	△4,141	△4,757	△10,302	121,399	△14,708

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
営業活動CF	19,442	17,844	20,810	34,119	—
投資活動CF	△14,481	△12,535	△1,270	△134,627	—
フリーCF	4,961	5,309	19,540	△100,508	—
財務活動CF	△3,389	△13,766	△15,403	119,703	—

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

お問い合わせ先

三浦工業株式会社 そうごう 創合企画部

TEL 089-979-7045

FAX 089-979-7011

URL <https://www.miuraz.co.jp/>